

化学工学論文集 特集「実践晶析技術の進展」論文の募集

化学工学会論文誌編集委員会では、化学工学論文集において、特集「実践晶析技術の進展」の論文を募集します。本特集は材料・界面部会の晶析技術分科会が中心となって企画されたものですが、化学工学会員以外の方の投稿も歓迎いたしますので、関連分野の研究者の方々にもお知らせいただければ幸いです。

実践晶析技術の進展

晶析技術は、古くから化学工業の生産プロセスで実用化されてきた長い歴史があるが、溶液物性、核発生と成長の複雑な相関関係から体系化が難しい単位操作の一つである。日本では、半世紀以上前から大学・企業一体となって晶析技術の発展に貢献してきたこともあり、ヨーロッパやアメリカでも日本技術研究に対する評価も高い。工業晶析の国際会議でも主にヨーロッパで3年に1度開催されている Industrial Crystallization (ISIC), BIWIC, さらにアジアで2年に1度開催されている Asian Crystallization Technology Symposium (ACTS)で、技術・研究での貢献も大きいものと考えられている。そこで、本特集号としては、晶析装置に関わっている企業の技術研究、また、大学などの研究機関での最近の晶析技術に関する研究をまとめた、実践晶析技術に本質的に有用な和文誌の論文集を目指すものである。

原稿締切希望時期

2017年3月31日 頃

特集掲載時期

V o l . 44 N o . 1 (2018年1号を予定)

投稿サイト : <http://www.scej.org/publication/bulletin/>

論文投稿にあたって論文の種類、体裁などは化学工学論文集の投稿規定に従って下さい。論文投稿サイトにおいて、論文情報入力時に特集号への投稿を確認する項目があります。必ず「未来を担う環境化学工学」と入力ください。入力がない場合、一般論文として審査が進みます。

同一著者による投稿は総説を除き1号あたり3編までです。特集の審査期間は原稿締め切り後4ヶ月以内、刊行は、審査終了後4ヶ月以内を予定していますが、審査状況によっては、一部の審査が終了していない原稿について、特集への掲載をせず、一般論文として引き続き審査することもあります。また、大部分の論文審査が早く終了した場合は、予定を繰り上げて刊行することもあります。

なお、特集に関するお問い合わせは電話、FAX、電子メールで受け付けております。

TEL:03-3943-3527 / FAX:03-3943-3530 / E-mail: wabunron@scej.org